

「君待つと（古今和歌集）」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 古今和歌集について説明している次の文の（ア）～（オ）に当てはまる言葉・数字を答えなさい。

「古今和歌集は、（ア）時代に（イ）の勅命によって（ウ）らによってまとめられた。（エ）巻から成っており、約（オ）首の歌を収めている。」

【ア】

【イ】

【ウ】

【エ】

【オ】

以下の歌について、問2～6に答えなさい。

人はいさ心も知らずふるさは花ぞ昔の香ににほひける

問2 この和歌の作者を漢字で答えなさい。

問3 「人」は誰のことを指しているか。次の中から選び○で囲みましょう。

ア：世の中の人

イ：宿の主人

ウ：作者自身

エ：作者の恋人



問4 「花」が指しているものは次のうちどれか選び○で囲みましょう。

- ア：梅の花
- イ：桜の花
- ウ：恋人
- エ：ふるさとに咲く花

問5 「香ににほひける」を現代仮名遣いで書き直しなさい。

問6 「人の心」と対照的に詠まれているものを、和歌の中から書き抜いて答えなさい。

次の歌について問7～9に答えなさい。

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる

問7 「秋来ぬと」の読み方を答えなさい。

問8 「さやかに」の意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

- ア：さわやかな
- イ：少しだけ
- ウ：はっきりと
- エ：さっぱりと



問9 「おどろかれぬる」の「おどろく」の意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

- ア：びっくりする
- イ：恐ろしく思う
- ウ：わくわくする
- エ：はっと気づく

次の歌について問10～12に答えなさい。

思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを

問10 この和歌の作者を漢字で答えなさい。

問11 「寝ればや」の読み方を答えなさい。

問12 「覚めざらましを」の意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

- ア：夢から覚めてしまっただろう
- イ：夢から覚めたかっただろう
- ウ：夢から覚めずにいただろう
- エ：夢から覚めてはいけないうだろう

問13 「思ひつつ」を現代仮名遣いで書き直しなさい。

問14 「見えつらむ」を現代仮名遣いで書き直しなさい。



「タイトル」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 ア・平安 イ・醍醐天皇 ウ・紀貫之
 エ・20（二十） オ・1100（千百）

問2 紀貫之

問3 イ

【解説】この歌は、作者の紀貫之がなじみの宿を久しぶりに訪ねた時に詠んだもので、「人」はその宿の主人のこと。

問4 ア

【解説】「花」とは、なじみの宿がある土地に咲いている梅の花のこと。

問5 香ににおいける

問6 花

問7 あききぬと

問8 ウ

問9 エ



問 | 0 小野小町

問 | 1 ぬればや

問 | 2 ウ

問 | 3 思いつつ

問 | 4 見えつらん

